

平成 2 8 年度
志木市予算及び事業概要説明

“市民力”再発見！

夢と未来を語る ふれあいあふれるまち志木

目 次

I	平成28年度当初予算について	1
1	財政環境と予算編成の基本的な考え方	1
2	予算規模	4
II	平成28年度 事業概要	5
III	平成28年度 一般会計の概要	23
1	歳入	23
2	歳出（目的別）	24
3	歳出（性質別）	25
4	主な増減	26
	(1)歳入	
	(2)歳出（目的別）	
	(3)歳出（性質別）	
IV	平成28年度 特別会計・企業会計の概要	30
1	特別会計・企業会計の予算概要	30
	(1)特別会計	
	(2)企業会計	
	(3)各会計への一般会計からの繰出状況	
2	特別会計の概要	31
3	企業会計の概要	33
	(1)水道事業会計	
	(2)下水道事業会計	

I 平成28年度当初予算について

1 財政環境と予算編成の基本的な考え方

平成28年度における財政環境は、歳入面では、マンションの新築などに伴う納税義務者数の増加や個人所得の伸びなどにより、市税収入は増額すると見込んでおります。

また、国の平成28年度地方財政対策につきましては、地方税や地方交付税などの地方一般財源総額は前年度を上回る額を確保するとされたほか、地方創生のための財源である、まち・ひと・しごと創生事業費も引き続き前年度と同額が確保されました。その一方で交付税の別枠加算は廃止され、平時モードへの切替えが進むことが見込まれており、景気回復の動きも緩やかな持ち直しの動きが続いておりますが、引き続き慎重にその動向を見極めていかなばならない状況にあると考えております。

歳出面では、超高齢社会の進展に伴う医療・介護関係経費や保育需要の増加に対処するための保育園・学童保育クラブ関係経費など、社会保障費の増加は避けて通れない状況となっております。また、庁舎をはじめとする公共施設や道路・上下水道などのインフラの老朽化に伴う維持補修経費の増加が予想されていることから、引き続き、慎重な財政運営を行っていかねばなりません。

このような財政環境の中、予算編成にあたっては、これらの課題を見据え、「まちづくり35の実行計画に掲げる目標を達成するための予算を計上すること」、「事業判定制度及びサマーレビューの結果、職員提案制度における提案内容を踏まえた予算とすること」、「国・県補助金の積極的な活用等により一般財源の持ち出しを減らすこと」、「志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画 将来構想）のスタートにふさわしい事業を計上すること」、「各部署局長を筆頭に、部局内の予算を総括的見地から俯瞰（ふかん）し、スクラップ・アンド・ビルドにもう一度徹底して取り組むこと」の5点を基本的な考え方とし、効果的な財源の配分に努めたところであります。

この結果、平成28年度の予算案の規模は、

一般会計

221億1,100万円（対前年度比1.8%増）

特別会計

137億9,128万4千円（対前年度比2.5%増）

企業会計

51億2,402万円（対前年度比3.6%増）

合 計

410億2,630万4千円（対前年度比2.3%増）
となりました。

一般会計につきましては、対前年度比およそ4億円の増額となり、当初予算としては、4年連続で200億円を超える編成となりました。

歳入面では、歳入の大半を占める市税の予算額は対前年度比0.8%の増、総額ではおよそ105億円を見込んでおります。

個人市民税は、雇用情勢の改善に伴い個人所得が緩やかに増加していることに加え、大型マンションの建設に伴う人口の増加により、納税義務者数につきましては、500人程度の増とし、およそ36,700人と見込むとともに、景気に緩やかな回復基調が続いていることから、対前年度比0.2%の増、49億4,829万円と見込んでおります。

法人市民税は、企業収益が改善傾向にある一方で、成長志向に重点を置いた法人税改革に伴う法人税率の引下げや、地方法人課税の偏在の是正に伴う法人税割の税率の引下げの影響から、法人税割納税額を対前年度比3.5%の微増と見込み、全体で対前年度比2.4%の増、4億4,407万6千円と見込んでおります。

固定資産税は、土地は地価がほぼ横ばい、家屋は据置年度であるため新・増築分を増加とし、また、償却資産は、企業の設備投資の兆しが見られることから、若干の増加を見込み、対前年度比0.7%の増、40億4,599万3千円と見込んでおります。

都市計画税は、固定資産税と同様に微増と見込み、対前年度比0.3%の増、6億2,198万2千円と見込んでおります。

軽自動車税は、軽四輪乗用車の登録台数の増加に加え、税制改正に伴う車体課税の見直しにより、対前年度比26.8%の増、6,665万円と見込んでおります。

市たばこ税は、近年の健康志向の高まりから、毎年、成人喫煙率が減少しており、たばこの売渡本数は決算見込みから3%減少としたものの、紙巻たばこ三級品の税率の引上げを考慮し、対前年度比6.7%の増、3億2,663万5千円と見込んでおります。

普通交付税は、国の平成28年度地方財政対策における、地方交付税総額が前年度とほぼ同程度の額を確保されていることから、前年度と同額の11億円と見込んでおります。

国庫支出金は、民間保育園の新設に伴う民間保育園運営に係る国庫負担金の増加などにより、対前年度比4.1%の増、35億0,416万2千円と見込んでおります。

市債は、袋橋、宮戸橋及び富士下橋の耐震補強等工事を実施することにより、対前年度比18.0%の増、14億9,610万円と見込んでおります。

繰入金は、財政調整基金からの繰入を対前年度比11.5%の減、12億0,876万3千円としたことから、全体として対前年度比15.3%の減、13億6,932万4千円と見込んでおります。

これによりまして、平成28年度当初予算取崩し後の財政調整基金残高は、およそ14億4,000万円と見込んでおります。

歳出面につきましては、志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画 将来構想）で掲げたまちの将来像の実現を目指し、平成28年度に推進する主な施策につきまして「Ⅱ 平成28年度事業概要」に掲載しています。

2 予算規模

(1) 一般会計

221億1,100万円 (前年度当初比 1.8%増)

(前年度当初 217億1,900万円)

《一般会計予算規模の推移(当初予算比)》

(単位：千円・%)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
予算額	19,491,000	22,354,000	20,954,000	21,719,000	22,111,000
増減率	▲0.9	14.7	▲6.3	3.7	1.8

(2) 全会計合計(一般・特別・企業会計)

410億2,630万4千円(前年度当初比 2.3%増)

(前年度当初 401億2,342万5千円)

《全会計予算規模の推移(当初予算比)》

(単位：千円・%)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
予算額	36,453,979	39,417,703	37,806,971	40,123,425	41,026,304
増減率	1.3	8.1	▲4.1	6.1	2.3

Ⅱ 平成28年度 事業概要

1 市民力が生きるまちづくり

新 在宅子育てを行う保護者のリフレッシュ支援
[子ども家庭課] 3,448千円

子育て家庭の約7割を占める在宅子育て家庭のうち、育児に特に手のかかる1歳児及び2歳児を抱える保護者を対象として、リフレッシュを目的とした一時保育の無料クーポン券を配布することにより、子育て負担の軽減を図るとともに、保育園・子育て支援センターを軸とした地域とのつながりを育んでいきます。

新 ダイエー跡地マンション内に新設される民間子育て支援センターへの支援 [子ども家庭課] 7,452千円

子育て世代が住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを進める一環として、ダイエー跡地マンション内において新たに開設される民間子育て支援センターの運営を支援することにより、子育て支援拠点のさらなる充実を図ります。

新 助産師による「おっぱいケア訪問」の実施
[健康増進センター] 700千円

出産直後の母親の育児不安を軽減し順調に育児のスタートを切っていただけよう、出産後60日以内の母親を対象とした、助産師による家庭訪問型の「おっぱいケア」を実施し、授乳に関する相談などを行います。

新 ネオパパ講座の開催 [健康増進センター] 60千円

初めて父親になる方や子育て中の父親の育児不安の軽減を図ることを目的として、実際に赤ちゃんに触れながら育児に対する心構えや育児手技を学ぶことのできる「ネオパパ講座」を開催します。

継 公立保育園の保育士確保によるさらなる質の向上
[子ども家庭課] 96,119千円

保育士の確保が大きな課題となっている中、公立保育園の臨時保育士について、基本賃金や勤務時間帯などに応じた賃金の見直しを図ることで新たな保育士の確保に努め、保育の質の向上につなげます。

継 **民間保育園の助成等** [子ども家庭課] **1,532,539 千円**

待機児童の解消に向け、新たに認可保育園を2園、小規模保育施設を3園整備することで、保育定員の拡大を図るとともに、子ども・子育て支援新制度に移行した民間保育園、幼稚園などに対する財政支援を行うことにより、これら施設の安定的な運営と保育環境の向上を図ります。

継 **35** **学童保育クラブのさらなる充実** [子ども家庭課] **203,314 千円**

保育需要の高い志木学童保育クラブ及び志木第三学童保育クラブの定員を拡充します。あわせて、保育環境の維持整備とともに、児童の安全を確保するための指導員の補充を行うことで、学童保育クラブのさらなる運営の充実を図ります。

継 **35** **児童の体力向上の推進** [学校教育課] **1,467 千円**

各小学校で行われる体育の授業に体力向上指導員を派遣するとともに、逆上がりができるぞ教室・なわとびチャレンジ教室を開催し、小学生の基礎体力の向上を図ります。あわせて、小学校1校を体力向上重点校と位置づけ、体育の授業を担任教員とともにティーム・ティーチングで行う体育授業サポーターを派遣します。

継 **35** **小・中学校 ICT 活用のための研究** [学校教育課] **9,854 千円**

各学校に大型テレビ、教材掲示装置、電子黒板ユニットを追加整備し、授業での活用を促進します。また、ICT授業研究モデル校（小学校1校、中学校1校）において、タブレット端末や電子黒板を活用した授業の研究を進めます。

継 **35** **サイエンス・カフェの開催** [学校教育課] **65 千円**

市内の小学生を対象として、科学の世界に興味を持ってもらうことを目的に、気軽に科学の不思議に触れ、楽しみながら実験をするサイエンス・カフェを実施します。JAXAなどからも支援を受け、子どもたちに最先端の科学を紹介します。

継 **35** **小学校における少人数指導「しきステップアッププラン」の実施** [学校教育課] **28,695 千円**

基礎学力の定着と学力向上の要となる小学校4年生を対象に、通常教員に加え「しきステップアップ教員」を加配することにより、個々の習熟の程度に合わせたきめ細かい指導を行います。

- 継 35** 部活動指導補助員の充実 [学校教育課] 640 千円
 専門的な指導を行うための外部指導者を増員し、より高い水準の技能の習得を支援することにより部活動の活性化を図ります。
- 継 35** 教員の授業力・教育の質の向上のための研修・研究 [学校教育課] 480 千円
 教員の授業力向上を図るため、科目ごとの教科研究部会を立ち上げ、すべての教員がいずれかの部会で教材研究を行うとともに、市内一斉の授業研究会において、研究成果を発表・共有します。
- 継 35** 小中一貫教育の実施に向けた検討 [学校教育課] 120 千円
 小学校入学から中学校卒業までの9年間という発達段階における段差のない一貫した教育を推進するため、中学校区を基礎に議論を進めてきた小中一貫教育課程の編成に着手します。
- 新** 小学校児童用机・椅子の一斉更新 [教育総務課] 6,309 千円
 老朽化した小学校の児童用机・椅子の一斉更新を行い、快適かつ授業に集中できる学習環境の整備を図ります。
- 継** 小・中学校の体育施設の改修[教育総務課] 47,844 千円
 安全で快適な授業・部活動を行える環境を整備するため、志木小学校及び宗岡第四小学校のプール改修工事を行うとともに、特に老朽化が進んでいる宗岡小学校及び志木第二中学校の体育館床改修工事を行います。
- 新** 中学校特別教室への空調機器の設置 [教育総務課] 4,000 千円
 市内中学校における授業環境の改善を図るため、美術室、技術室、被服室など特別教室への空調設備設置を進めていきます。平成28年度に実施設計を行い、平成29年度に設置工事を実施します。
- 継** スクールソーシャルワーカーなどの増員による教育相談体制の強化 [教育サポートセンター] 3,539 千円
 子どもの貧困や児童虐待などの家庭環境や、不登校などの学校不適応といった課題を抱える児童・生徒やその保護者の不安や悩みを解消するために、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを増員することにより教育相談体制の充実を図ります。

継 特別支援学級介助員・教育支援員派遣の拡充
[教育サポートセンター] 3,452千円

発達に課題のある児童・生徒に寄り添いながら学習支援を行う「特別支援学級介助員」及び「教育支援員」を増員することにより、児童・生徒だれもが安心して学校生活を送ることができる教育環境の充実を図ります。

新 薬物乱用防止講演「『今日一日を生きる』LIVEプロジェクト」の開催 [生涯学習課] 450千円

本市在住でライフワークとして薬物乱用防止に取り組む俳優・内谷正文氏による一人芝居「ADDICTION～今日一日を生きる君～」(体験劇)などを通して、薬物依存症の恐ろしさや、今日一日を一所懸命に生きることの大切さを学ぶ薬物乱用防止啓発講演会を開催し、青少年の健全育成を図ります。

新 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の推進
～地域で支える仕組みづくり～ [長寿応援課] ゼロ予算事業

平成29年度までに開始する新しい介護保険制度における介護支援の新たな担い手を育成するため、NPOや民間企業、ボランティアなどの支援など、適切な新サービス提供のための体制構築を加速します。

また、介護予防と地域の見守り・支えあいの拠点づくりを同時に進めていくことを目的として平成27年度にスタートした「いろは百歳体操」の普及を図るため、指導の担い手となる「いろは百歳体操サポーター」を養成し、全町内会での実施につなげていきます。

継 高齢者あんしん相談センター及び地域ケア会議の機能強化
[長寿応援課] 107,716千円

地域における高齢者支援の中核拠点である市内5か所の「高齢者あんしん相談センター」において、配置している専門職(看護師、社会福祉士など)を増員し、よりきめ細かで迅速なワンストップ相談・支援を行うことができる体制を整備します。

また、医療・介護などの多職種が協働して、自立支援に向けた個別ケースや地域課題の解決を図る「地域ケア会議」について、参加機関・実施回数ともに充実・強化を図り、地域包括ケアシステムの実現に向けた取組を推進していきます。

継 生活支援サービスの重層的な提供体制の整備 [長寿応援課] 28,000 千円

それぞれの方に応じた、きめ細かな生活支援サービスを提供していくため、市役所（市内全域を包括的にカバー）及び高齢者あんしん相談センター（市内各5圏域の個別的課題をきめ細かくカバー）に「生活支援コーディネーター」を配置することにより、ボランティア団体の育成などを通じて新たなサービスの提供体制を構築します。

新 医療と介護の関係機関の連携による在宅医療・介護支援体制の強化 [長寿応援課] 6,333 千円

医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護の関係機関（市役所の医療・介護部門、保健所、朝霞地区医師会、介護サービス提供事業者など）による代表者会議などを立ち上げ連携強化を図ることにより、さらなる地域の在宅生活を支えるための連携体制の構築を進めます。

新 認知症施策の推進 [長寿応援課] 12,620 千円

医師や作業療法士、精神保健福祉士などで構成する「認知症初期集中支援チーム」を編成し、家庭訪問などによるきめ細かなアセスメントや家族支援を行うとともに、認知症に係る相談のワンストップ窓口となる「認知症地域支援推進員」を市役所及び市内5か所の高齢者あんしん相談センターに配置し、迅速かつ的確な支援を提供します。

また、認知症の方や家族、地域の方、専門職が集い、交流・情報交換を行う「認知症カフェ」を高齢者あんしん相談センターで開催するなど、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

継 **35** 事業判定会の実施 [政策推進課] 125 千円

予算編成の段階から「市民感覚」を取り入れ、事業の改善や方向性を決定する際の参考とするため、より多くの市民が、事業担当課と企画・財政担当の議論を聞いたうえで、市の施策に意見を述べられる制度として、事業判定会を実施します。

新 町内会館等の改修補助 [市民活動推進課] 3,000 千円

町内会活動の活性化と基盤の強化を図るため、その活動の拠点となる町内会館などの維持に係る改修工事に対する補助を行います。

継 35 第2期「地域担当制及び地区まちづくり会議」の実施
[市民活動推進課] 1,999千円

市内7地区それぞれ15人程度の市民(地区住民委員)と5人の市職員(地域担当制による地区職員委員)により組織する「地区まちづくり会議」について、第1期メンバーから市への提言をいただくとともに、第2期メンバーによる新たな取組をスタートします。

第2期の取組においては、第1期メンバーからの提言を参考とし、自ら新しい地域の課題を抽出・共有し、その解決に結び付けます。

継 35 「志民力人材バンク」の推進 [市民活動推進課] 15千円

市民の皆様が持つ「市民力」により、住みよいまちづくりの推進を目的に設置している「志民力人材バンク」の登録者数の増加と、さらなる活用を図ることで、市民力を結集したまちづくりを目指します。

継 35 ふれあい館「もくせい」を活用した多世代交流の促進
[市民活動推進課・長寿応援課・子ども家庭課・生涯学習課] 4,887千円

ふれあい館「もくせい」(志木第四小学校北校舎1階)において、子ども・子育て世代・高齢者などの多世代交流を促進するため、関係課と連携のもと、多世代交流レクリエーション事業の充実を図り、地域の活力を活性化するとともにコミュニティあふれるまちづくりを推進します。

2 市民を支える快適なまちづくり

新 胃がん検診の充実(胃がんリスク検診の実施)
[健康政策課] 2,097千円

40・45・50・55・60歳の方を対象に、ヘリコバクター・ピロリ菌への感染と胃炎の有無を調べる「胃がんリスク検診」を新たに胃がん検診に追加し、検査内容を充実させることで胃がん検診の受診率向上につなげます。

継 35 第2回ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会の開催 [健康政策課] 4,970千円

いろは健康21プラン(第3期)の推進事業の目玉として平成27年度に初開催し、好評を博した「ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会」の第2回大会を5月15日(日)にいろは親水公園を中心に開催し、市民の健康増進を図るとともに、まちのにぎわいの創出につなげます。

継 健康寿命のばしマッスルプロジェクト事業 [健康政策課] 34,685 千円

市民が健康づくりに取り組むきっかけづくりとして、いろは健康ポイント事業（※1）と健康になりまっする教室（※2）の2本柱により平成27年度から開始した「健康寿命のばしマッスルプロジェクト」について、より多くの市民が健康寿命の延伸に取り組める環境を整備するため、参加者数、教室開催回数拡大を図ります。

※1 参加者が運動や健康に役立つことをした場合に、商品券と交換可能な「健康ポイント」が獲得でき、運動継続のモチベーションを高める事業

※2 参加者の生活や健康状態に合わせた「歩くこと、筋トレ、食事コントロール」の三位一体の指導を行う健康運動教室

継 生活習慣病重症化ハイリスク者に対する重点的な予防対策の実施 [保険年金課] 10,654 千円

特定健診の健診データやレセプト（診療報酬明細書）の分析などにより糖尿病が重症化するリスクの高い方を抽出し、これらの方に対して個別に受診勧奨を行い、医療へ結びつけることにより、早期治療に取り組める環境を整備します。また、個人の状況に応じた生活指導を行うことで、人工透析への移行を防止し、糖尿病重症化の予防を図ります。

新 障がい理由とする差別の解消に向けた市民意識の醸成 [福祉課] 41 千円

すべての市民が、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する支え合いのあるまちづくりを進めていくため、平成28年4月に施行される「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の趣旨などを市内事業所に十分に周知・浸透させていきます。

新 民間事業者によるグループホーム整備のための研究 [福祉課] ゼロ予算事業

障がいがあっても地域で自立した生活ができる環境の整備を進めるため、民間事業者による障がい者グループホーム（※）の整備に向けた研究を行っています。

※ 障がいのある方が地域の中で家庭的な雰囲気のもとで共同生活を行う施設

継 民間事業者と連携した三ツ木保育園跡地における障がい者通所施設の整備 [福祉課] 126 千円

特別支援学級や特別支援学校に通う児童・生徒の卒業後の活動の場を確保するため、民間事業者と締結した協定に基づき、三ツ木保育園跡地を活用した民間事業者による就労継続支援B型及び生活介護施設の整備を進めます。なお、開所については平成29年4月を目指しています。

新 新たな臨時福祉給付金の支給 [福祉課] ・一部繰越事業 271,179 千円

平成27年度に支給した低所得者を対象とした臨時福祉給付金に加え、景気回復による賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者・障がい者などを対象に、年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給を新たに実施します。

継 生活困窮者に対する総合的支援の実施・拡充 [福祉課・子ども家庭課] 31,251 千円

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対し、就労支援や家計相談を行うことにより自立を支援するとともに、これらの家庭の子どもに対する学習支援や、離職などにより住居を失った、または失う恐れのある方に対する住宅確保給付金の支給を行うなど、総合的な支援を実施していきます。

特に学習支援については、精神面や経済面で不安定な状況に陥りやすいひとり親家庭の児童などを対象とした学習支援を新たに開始し、既存の学習支援事業との連携によりさらなる充実を図ります。

新 八ヶ岳自然の家受水槽の改修 [生涯学習課] 53,158 千円

建設から39年が経過し、老朽化が進んでいる八ヶ岳自然の受水槽の更新工事などを行います。八ヶ岳自然の家の大規模な老朽化対策は、この工事をもって完了します。

新 柳瀬川図書館の大規模改修に向けた準備 [柳瀬川図書館] 19,656 千円

建設から23年が経過し、建物や設備の老朽化が進む柳瀬川図書館について、平成29年度に設備更新などを含めた施設の長寿命化を図る大規模改修工事を実施するための設計を行います。

継 志木市版ブックスタートの充実 [柳瀬川図書館] 1,079 千円

赤ちゃんに絵本やブックリストを配布することで、絵本を通じた赤ちゃんと保護者との触れ合いを創出する目的で平成27年度から開始した「志木市版ブックスタート」を引き続き実施します。

また、赤ちゃん連れの方が図書館を利用しやすい環境の整備・充実を図るとともに、これらの方が図書館利用に興味を抱くような各種事業を展開することにより、その後の図書館利用につなげます。

継 **35** 放課後学習教室の拡大 [生涯学習課] 3,500 千円

子どもたちの学習意欲と基礎学力の向上を図るために実施している放課後学習教室を新たに2校開校し（志木小学校、宗岡第二小学校）、計4校で実施します。放課後学習教室では繰り返し学習を重視し、学習上のつまずきの解消のみならず、家庭などでの学習習慣の体得を見据えた事業を行います。

継 **35** 文化体験道場の拡充 [生涯学習課] 1,049 千円

小・中学生に日本の伝統芸能・文化に触れる機会を提供するとともに、文化振興を図ることを目的として実施している文化体験道場の種目に新たに剣舞を追加し、伝統文化振興のさらなる充実を図ります（現在は、詩吟・邦舞踊・箏曲・民謡・三味線・和太鼓・華道・茶道の8部門）。

継 田子山富士塚の保存整備 [生涯学習課] 3,779 千円

年月の経過や東日本大震災により、盛り土の崩壊が進んでいた県指定文化財「田子山富士塚」について、大規模な保存整備としての修復工事を引き続き実施します。田子山富士塚の修復工事は平成27年度から開始しており、平成28年度に完成します。

新 田子山富士塚修復記念事業の実施 [生涯学習課] 558 千円

県指定文化財「田子山富士塚」の修復が7月におおむね完了することから、文化交流をすすめる山梨県富士吉田市から講師を招き、富士山文化や田子山富士塚の歴史などを学ぶ講演会を開催します。

また、実際に富士吉田市を訪れ、本市ゆかりの星野勘蔵氏が発見し、世界遺産「富士山」の構成資産ともなっている吉田胎内樹型のほか、北口本宮浅間神社やふじさんミュージアムなどを見学する「富士吉田フィールドワーク」をあわせて開催し、富士山文化への理解を深めることにより、市民レベルでの富士吉田市との文化交流の礎を築きます。

新 あさか・しき・にいざ・わこう
四市合同 丸沼芸術の森コレクション展 [生涯学習課] 2,286 千円

「あさか・しき・にいざ・わこう 四市合同 丸沼芸術の森コレクション展」を開催し、朝霞市の丸沼芸術の森が所蔵する芸術作品を展示します。

本市では、フォーシーズンズ志木ふれあいプラザにて、「モノクロームの世界」をテーマとして、版画や絵画、写真など、シャガールやルオーといった世界的にも著名な芸術家の作品を展示します。

継 チャレンジスポーツ推進事業 [生涯学習課] 800 千円

スポーツ実施率の向上を図るため、さまざまなスポーツのエキスパートを招いて実施する体験・参加型のスポーツイベントを「志木市民スポーツに親しむ日」（6月第1日曜日）に開催し、市民がスポーツを始めるきっかけづくりの場を提供します。

継 35 スポーツ環境の整備 [生涯学習課] 65,105 千円

市民がスポーツを快適に楽しめるような環境の整備・充実を図るため、市民体育館卓球場及び秋ヶ瀬スポーツセンターの空調設備や、市民体育館アリーナ床などの改修工事を行います。

3 活力と潤いのあるまちづくり

継 35 商工会及び商工業振興事業に対する支援 [産業観光課] 11,700 千円

本市の商工振興の核となる商工会への支援を行うとともに、商店会及び商工業者が行う地域活性化（貢献）事業である「いろはカッピー市」、「ふたばえんにち」、「フラのタベ」などのイベントや歳末イルミネーションなどを支援し、市内商工業の振興を図ります。

継 35 にぎわいのまちづくり創出事業への補助 [産業観光課] 3,500 千円

商工会や商店会、NPO法人が行うまちおこしイベントやにぎわいづくりのための新しい事業などに対して補助を行うことにより、まちのにぎわいを創出していきます。

継 35 空き店舗活性化事業補助の対象区域の拡大 [産業観光課] 6,850 千円

市内の空き店舗情報を一元化した「空き店舗バンク」を充実させるとともに、空き店舗を活用して起業する場合の家賃補助及び改装費補助の対象区域を市内全域に拡大し、より本市で起業しやすくするとともに、商工業のさらなる振興を図ります。

継 35 まちおこしの推進 [産業観光課] 800 千円

まちのにぎわい創出に向けた次代のリーダーを育成することを目的として若者を中心に創設した「まちの担い手育成塾」において、本市の観光資源や魅力を再発見しその活用を図ることにより、にぎわい創出につながる事業を実施します。

継 35 観光PRキャラクターなどの活用 [産業観光課] ゼロ予算事業

ご当地キャラクターや観光PRキャラクター「いろは水輝（みずき）」「四式（ししき）ロボ」などを活用した観光PRをさまざまな場面で行うことで、本市の魅力を市内外に積極的に発信していきます。

新…新規事業 35…35の実行計画関連事業 継…継続事業

新 消費生活センターの設置 [産業観光課] 2,784 千円

複雑・多様化する消費生活問題に対応するため、「志木市消費生活センター」を新たに設置し、消費生活相談体制のさらなる充実を図ることにより、詐欺被害及び製品の安全性や品質、サービスに関するトラブルの解決や未然防止に努めます。

新 頑張る農家支援事業 [産業観光課] 3,750 千円

付加価値の高い農産物の生産を支援することにより生産農家の収益性向上を図っていくため、県の特別栽培農産物（※）の認証を取得した特別栽培農産物の生産農家に対し、種苗や肥料などの資材購入に要する経費の一部を補助します。

※ 減農薬・減化学肥料で栽培された農産物

新 認定農業者制度の導入 [産業観光課] ゼロ予算事業

生産意欲のある農業者が農業経営を計画的に改善するために、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された目標に向けて「農業経営改善計画」を作成した場合、市が計画を作成した農業者を「認定農業者」として認定する制度を導入します。

認定農業者として認められると、国や県などからさまざまな支援・補助が受けられるようになります。

新 ロケーションサービス事業の調査研究 [産業観光課] ゼロ予算事業

本市を舞台とした映像を広く活用していただくことにより、本市の魅力を市内外にPRし、市のイメージアップにつなげるため、市内でのテレビや映画などの撮影の誘致、協力、支援などを行うロケーションサービスの調査研究を進めます。

新 いろは親水公園にぎわい事業
[市民活動推進課・環境推進課・産業観光課・都市計画課・生涯学習課] 12,436 千円

新河岸川と柳瀬川が合流し、貴重な資源であるいろは親水公園を「まちを流れる川をもっとにぎわいと市民の憩いの場に！」と題し、3月末から4月上旬にかけての桜の時期をはじめ、本市の魅力となるようなさまざまなイベントを実施します。

また、公園内の各ゾーン（右岸・左岸・中洲）を四季折々の花で彩るなど、常に市民でにぎわう空間を創出します。

継 都市公園の安心・安全化のための改修工事 [都市計画課] 58,511 千円

都市公園安心・安全化計画に基づき、かしわ公園及び館第3児童公園のバリアフリー化などの改修工事を行い、市民誰もが安心して安全に利用できる公園づくりを進めていきます。

新 公共施設の屋根貸しによる太陽光発電の推進 [環境推進課] ゼロ予算事業

太陽光発電を行う事業者に市内小・中学校の屋上を賃貸することにより、公共施設空きスペースの有効利用を図ります。これにより歳入確保が図られるうえ、再生可能エネルギーの利用促進や市民の省エネ意識の向上にもつながるとともに、災害時には非常用電源としての利用が可能となるため、避難所としての機能強化も図られます。

新 市民環境大学の開設 [環境推進課] 75 千円

市民に環境問題を学び考える場を提供するため、志木市環境市民会議との協働により「志木市民環境大学」を開設し、環境意識の醸成を図るとともに環境保全を担う次世代の人材を育成します。

新 省エネルギー機器設置費補助の拡大 [環境推進課] 4,260 千円

温室効果ガスの排出抑制を進めていくために実施している省エネ設備の設置費補助（補助対象機器：太陽光発電システム、エネファーム）について、補助対象に新たにHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）を追加し、環境負荷の少ないエネルギーの導入促進とともに市民の省エネ意識の醸成を図ります。

4 未来を支えるまちづくり

継 公共施設マネジメントの推進 [政策推進課]・繰越事業 7,917 千円

将来にわたる公共施設の適正な維持・更新を図るため、平成27年度に策定した公共施設等マネジメント戦略に定めた基本方針に基づき、市民サービスを低下させないよう配慮しながら、具体的な施設の更新・統廃合・再配置・転用などについて位置づけた公共施設適正配置計画を策定します。

新 市民会館ホール棟配電盤設備の改修 [市民活動推進課] 55,620 千円

利用者の皆様に安心してご利用いただける環境を整備するため、設置から23年が経過し、耐用年数の大幅に超過した市民会館ホール棟舞台照明の配電盤設備を改修します。

新…新規事業 **35**…35の実行計画関連事業 **継**…継続事業

継 福祉センター機能集約を含めた総合福祉センター改修工事
のための設計の実施 [福祉課] 19,633 千円

総合福祉センターに福祉センターの機能移転を図るため、利用者や利用団体の皆様から頂戴したご意見を考慮しながら、平成29年度に実施予定の内部大規模改修に向け、設計を実施します。

新 第二福祉センター浴室等改修工事の設計の実施
[長寿応援課] 13,000 千円

浴場及びボイラーなどの老朽化が著しく早急な対応が必要であることから、浴場施設の改修工事に係る設計に着手し、第二福祉センターを快適にご利用いただける浴場施設へのリニューアルを進めます。

継 立地適正化計画の策定 [都市計画課] 4,006 千円

平成30年度の策定を目指し、平成27年度から進めている立地適正化計画(※)の検討において、平成28年度は医療・福祉・商業などの都市機能増進施設の立地を誘導すべき区域として、都市機能誘導区域を設定します。

※ 今後の人口減少や超高齢社会を迎えるにあたり、将来にわたって都市機能を適正に維持管理していくためのまちづくり計画

継 中央通停車場線の整備促進 [都市計画課] 19,380 千円

県が施行する都市計画道路中央通停車場線の整備に対し、事業費の一部を負担し、都市機能の充実促進を図ります。

継 富士前田子山地区の整備手法の検討 [都市計画課] 2,511 千円

急激な都市化や土地の細分化により事業着手が困難となっている富士前田子山地区の土地区画整理事業に関し、県の指針に基づいて地区の方々と今後の方向性などについて検討していきます。

継 **35** 道路環境の整備(舗装打換) [道路課] 100,000 千円

市道のわだち掘れやひび割れなどの総点検結果を踏まえて策定した舗装打換5か年計画に基づき、計画的に舗装の打換工事を実施します。また、段差やくぼみなど道路状況が悪化又は劣化している箇所については、適宜、必要な補修・修繕工事を実施します。

継 **35** 富士見大原線の舗装打換 [道路課] 50,985 千円

快適で安全な道路環境を保つため、富士見大原線(ユリノ木通り)の慶応志木高校交差点から本町4丁目交差点までの舗装の打換えを実施し、全線の舗装打換工事は、平成28年度をもって完了します。

新…新規事業 **35**…35の実行計画関連事業 **継**…継続事業

- 継** 橋りょうの耐震化 [道路課] 562,680 千円
 公共施設安心・安全化計画（橋梁編）に基づき、宮戸橋及び袋橋の耐震補強等工事を引き続き実施し、平成28年度に工事が完了します。また、富士下橋について平成28年度から2か年の計画で耐震補強等工事を実施します。
- 新** 志木駅東口ペDESTリアンデッキの定期点検 [道路課] 4,212 千円
 志木駅東口ペDESTリアンデッキについて、道路法省令及び横断歩道橋定期点検要領に基づき、定期点検を実施します。
- 継** 宗岡志木環状線の整備ための予備設計 [道路課] 2,700 千円
 都市計画道路宗岡志木環状線と交差する一般国道254号和光富士見バイパスとの交差点協議や道路整備区域の確定を行うため、宗岡志木環状線の予備設計を実施します。
- 新** 生活道路快適化のための改良工事の実施 [道路課] 31,148 千円
 身近な生活道路における狭あい道路や水たまりなどの解消を図るため、道路拡幅と交通安全対策をあわせて行う生活道路快適化事業に着手します。平成28年度は、市道第2010号線ほか1路線の道路改良工事を実施するとともに、市道第2203号線の用地路線測量を行います。
- 継** 志木市水道ビジョンの策定 [上下水道総務課] 9,029 千円
 50年後、100年後における本市の水道事業の理想像を見極め、それを具現化していくための「志木市水道ビジョン」の策定を平成27年度に引き続き行います。
 同ビジョンでは、目標水準の設定を行うとともに、当面の課題に対する実現方策（基本計画）、財政計画に関する積算根拠を明らかにしていきます。
- 継** 安全で安心な水道水の供給 [水道施設課] 461,466 千円
 市民へ良質な水道水を供給するため、浄水場施設・設備を重要度分類に基づき計画的に更新していくとともに、水質監視体制の強化を図り、供給する水道水のさらなる安全・安心を確保していきます。
- 継** 水道施設の耐震化 [水道施設課] 205,316 千円
 地震による被害に備えるため、水道施設の耐震化による水の安定供給体制の整備を進め、被災時における市民生活への影響を最小限に抑えます。

新 災害備蓄用ペットボトル飲料水「志木の恵水 水輝（しきのめぐみ みずき）」の製作 [水道施設課] 2,000 千円

災害時における備蓄水の充実を図るため、市内井戸水を活用したペットボトル水「志木の恵水 水輝」を製作・製造し、あわせて本市の地下水及び水道事業のPRを進めていきます。

新 志木中継ポンプ場・館第一排水ポンプ場の耐震化 [下水道施設課] 27,076 千円

地震による被害に備えるため、雨水・汚水ポンプ場施設の耐震化を計画的に実施し、被災時における対象区域の市民生活への影響を最小限に抑えます。

新 志木市下水道ビジョン策定に係る基礎調査 [下水道施設課] 6,383 千円

本市の下水道事業の現状と社会経済情勢の変化を踏まえ、下水道の使命を達成するための長期的な将来像を描く「志木市下水道ビジョン」の策定に着手します。

継 下水道施設の老朽管対策（長寿命化） [下水道施設課] 19,440 千円

下水道施設の劣化状況及び健全度ランクに応じて、管路施設（マンホール蓋）の改築・修繕を行います。

新 **35** 実証実験結果を踏まえた「志木市デマンド交通」の本格実施 [都市計画課] 26,758 千円

高齢者や障がい者、妊婦、未就学児の子育て世帯などの移動手段を確保するため、自宅や公共施設・病院、商業施設などの間の移動において低額でタクシーを利用できる新たな公共交通サービス「志木市デマンド交通」の本格実施を開始します。本格実施にあたっては、平成27年度に実施した実証実験結果や市民の意見を踏まえ、料金体系や共通乗降場の見直しを行い、より利用しやすく持続可能な制度としていきます。

継 **35** 道路環境の整備（交通安全施設） [都市計画課] 18,306 千円

安全で円滑な道路交通を確保するため、カーブミラー、道路標示などの交通安全施設の計画的な修繕・更新を実施します。あわせて、町内会からの要望などを踏まえながら、カーブミラーなどを適正に設置していきます。

新 道路照明灯の一斉LED化 [都市計画課] 1,800 千円

夜間における視認性の確保と二酸化炭素の排出削減を図るため、市が管理する道路照明灯のうち約1,700基をLED道路照明灯に更新します。整備にあたっては、民間企業のノウハウ、資金、技術力の活用を図ります。

新…新規事業 **35**…35の実行計画関連事業 **継**…継続事業

新 柳瀬川駅前自転車駐車場の駐輪ラックの更新 [都市計画課] 36,141 千円

柳瀬川駅前自転車駐車場における施設の利便性と安全性を確保するため、駐輪ラックなどの更新工事を実施します。この工事により収容台数の増加も図られるため、利用率の向上も図られます。

継 **35** 防犯灯のLED化及び新規設置に対する支援 [市民活動推進課] 48,042 千円

平成26年度から平成28年度までの3か年計画に基づき、町内会が維持管理を行う防犯灯のLED化や新規設置に対する支援を行い、安心・安全に生活できるまちづくりを推進します。

継 自警消防隊小型動力消防ポンプの整備 [防災危機管理課] 2,045 千円

地域消防力の向上を図るため、町内会で組織する自警消防隊の小型動力ポンプの更新を計画的に実施します。平成28年度は、老朽化した大原町内会及び柏町内会のポンプを更新します。

新 **35** 空き家等に対する総合的対策の実施 [環境推進課] 5,656 千円

空き家等の適正管理を図るため、市内の空き家等の現状把握を行いデータベース化したうえで、空き家等バンクの整備を行います。

また、所有者が活用の意向を有しない空き家等に対しては、市が公用・公共用として跡地活用することを前提に寄附採納を受けたうえで除却する制度を創設します。さらに、有効活用を図ることが可能な空き家等については、空き家等バンクを活用した取引における仲介手数料に対する助成制度を創設し、利活用促進を図ることで安全・安心のまちづくりを進めていきます。

継 可搬式ポンプの整備 [防災危機管理課] 2,182 千円

水害対策のため、9地区に20台配置している可搬式ポンプの更新を順次行います。平成28年度は、老朽化した赤野毛地区の150mmポンプ1台を更新します。

継 避難所の災害用便槽の整備 [防災危機管理課] 27,251 千円

災害時における下水道設備などの損壊への備えとして、避難所となる施設への設置を進めている災害用便槽について、平成28年度は志木小学校への設置工事を実施するとともに、平成29年度に設置を予定している宗岡第二小学校の設計を行います。

継 防災用備蓄品の整備・充実 [防災危機管理課] 5,504 千円

災害発生時に備えた備蓄食糧の入替えを行うほか、平成27年度に実施した市民総合防災訓練で明らかとなった課題を踏まえ、放送設備（ワイヤレスアンプ）を備蓄するとともに、災害用便槽の便器、テントなどを新たに整備します。

継 住宅の耐震化補助 [建築開発課] 36,000 千円

住宅の耐震化促進のため、戸建て住宅や分譲マンションなどの耐震診断や耐震改修、建替えに対する補助を行います。平成28年度は制度を拡充し、新たに分譲マンションの耐震設計に対する補助を行います。

継 住宅の改修補助 [建築開発課] 6,000 千円

安全な住環境の整備と地域経済の活性化を図るため、市内業者が行う住宅改修工事に対する補助を行います。

補助の対象となる工事は、耐震補強工事と同時に行われるリフォーム工事が室内の段差解消や手すり設置などのバリアフリー化工事です。

5 健全でわかりやすい行政運営

継 生活改善型納税相談の実施 [収納管理課] 469 千円

家計相談の専門家であるファイナンシャルプランナーによる納税相談を実施し、滞納者が抱える住宅ローンや過払い金などの金銭的問題を診断・整理することで家計環境の改善を図り、市税などの自主的な納付を促し、市税などの収入を確保します。

継 市税などの滞納整理の強化ときめ細かな納税相談の実施 [収納管理課] 8,262 千円

税の公平性を維持するとともに市税等収納額の増加を図るため、滞納整理を行う人員を増やし、市税などのほか、介護保険料や保育園入園児童保護者負担金などの滞納債権について、事務の一元化を図り、効率的・効果的な徴収に取り組みます。

また、未納者に対しては収納コールセンターのきめ細やかな納付の呼びかけにより納税意識の高揚を図るとともに、市役所窓口において個別の実情に応じた納税相談を実施し、滞納の早期解消に努めます。

新 **35** コンビニエンスストアにおける戸籍謄本などの交付
[政策推進課・課税課・総合窓口課] 50,066千円

個人番号カードを利用して全国のコンビニエンスストアで取得できる証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、課税証明書）に、新たに戸籍謄本などを追加し、市民の利便性のさらなる向上を図ります。

新 住民票などの証明書自動交付機の設置 [総合窓口課] 1,329千円

住民票などの交付窓口の混雑緩和を図るため、個人番号カードを利用して証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、課税証明書、戸籍謄本など）を取得することができる自動交付機を市役所庁舎内に設置します。

新 コンシェルジュデスクの設置 [総務課・総合窓口課] 4,279千円

市役所業務の総合案内窓口として「コンシェルジュデスク」を庁舎正面玄関に設置するとともに、タッチパネル式の電子看板（デジタルサイネージ）を設置し、来庁される市民の皆様の利便性をさらに向上させます。なお、電子看板の設置に要する費用については、広告収入で賄うことにより歳入確保にもつなげます。

継 志木市ふるさと応援資金・特産品お届け事業の実施
[財政課・産業観光課] 23,990千円

市外からの寄附者に対する謝意として本市の特産品を贈呈し、本市の魅力を全国に発信するとともに市内事業者の振興を図ります。また、新たな特産品を発掘・追加し、さらに魅力ある特産品ラインナップへと充実を図ります。

なお、全国から寄せられた寄附金は新たに設置する志木市まちづくりサポート基金に積み立て、寄附していただいた方の想いを反映する形で、市民の皆様のために役立てさせていただきます。

新 「広報しき」表紙などのカラー化 [秘書広報課] 16,755千円

より愛される広報紙を目指し、「広報しき」表紙及び裏表紙のカラー化によりこれまで以上に手にとって読んでいただけるよう努めるとともに、紙面の充実を図ることにより市政情報をより分かりやすく的確にお届けします。なお、このカラー化に要する費用は、広告料収入の増収分をもって充てることにより、経費節減にも努めます。

新 市民力を活用した広報紙の製作
～市民カメラマン制度の創設～ [秘書広報課] 99千円

市民感覚をより取り入れた広報紙面を製作していくとともに、市民力のさらなる活用を図っていくため、写真撮影技術に長けた市民の方に広報紙へ掲載する写真撮影の一部を委嘱する「市民カメラマン制度」を創設します。

新…新規事業 **35**…35の実行計画関連事業 **継**…継続事業

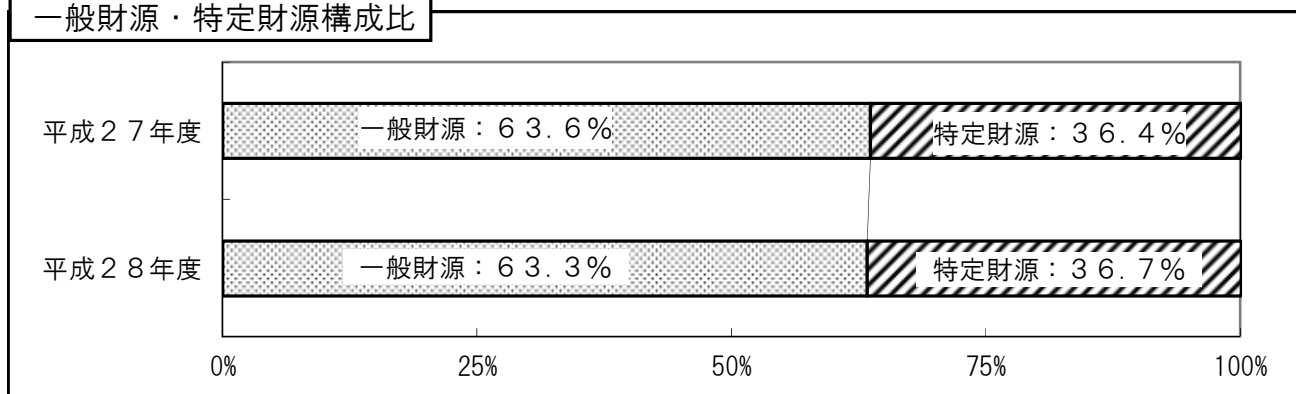
Ⅲ 平成28年度 一般会計の概要

1 歳 入

(単位：千円・%)

項 目	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率(%)
予 算 規 模 A	22,111,000	21,719,000	392,000	1.8
市 税	10,494,272	10,408,422	85,850	0.8
地 方 譲 与 税	99,000	101,000	▲ 2,000	▲ 2.0
利 子 割 交 付 金	14,000	16,000	▲ 2,000	▲ 12.5
配 当 割 交 付 金	67,000	40,000	27,000	67.5
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	24,000	24,000	0	0.0
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	2,600	3,000	▲ 400	▲ 13.3
地 方 消 費 税 交 付 金	935,000	934,000	1,000	0.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金	20,000	20,000	0	0.0
地 方 特 例 交 付 金	60,000	60,000	0	0.0
地 方 交 付 税	1,370,000	1,300,000	70,000	5.4
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	8,000	8,000	0	0.0
一 般 財 源 計 B (臨時財政対策債含む)	13,993,872	13,814,422	179,450	1.3
分 担 金 及 び 負 担 金	497,120	481,677	15,443	3.2
使 用 料 及 び 手 数 料	89,474	90,378	▲ 904	▲ 1.0
国 庫 支 出 金	3,504,162	3,364,646	139,516	4.1
県 支 出 金	1,399,200	1,354,982	44,218	3.3
財 産 収 入	22,333	10,467	11,866	113.4
寄 附 金	15,002	1,752	13,250	756.3
繰 入 金	1,369,324	1,617,395	▲ 248,071	▲ 15.3
繰 越 金	400,000	400,000	0	0.0
諸 収 入	224,413	215,081	9,332	4.3
市 債 (うち臨時財政対策債)	1,496,100 (900,000)	1,268,200 (900,000)	227,900 (0)	18.0 (0.0)
特 定 財 源 計 (臨時財政対策債除く)	8,117,128	7,904,578	212,550	2.7
一 般 財 源 比 率 B / A (%)	63.3	63.6		

一般財源・特定財源構成比



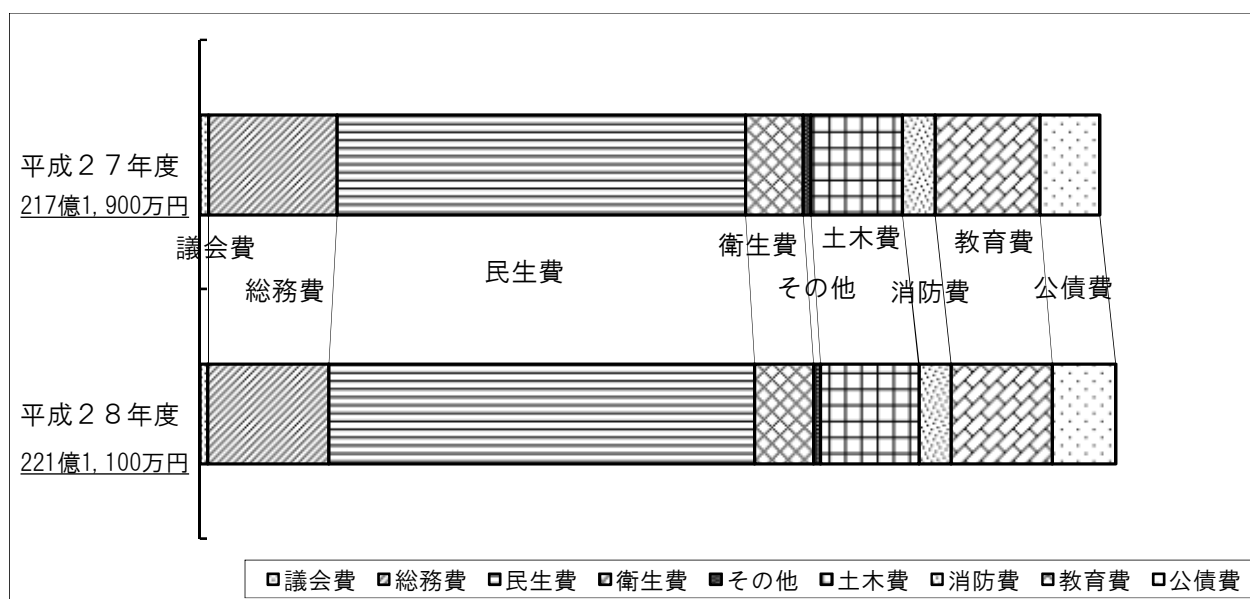
(注) ここでの一般財源は、国の地方財政対策に基づく分類であり、予算書の分類とは異なります。

2 歳 出 (目 的 別)

(単位：千円・%)

目 的 別	平成28年度		平成27年度		増減比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
議 会 費	190,094	0.9	202,877	0.9	▲ 12,783	▲ 6.3
総 務 費	2,924,050	13.2	3,108,938	14.3	▲ 184,888	▲ 5.9
民 生 費	10,274,119	46.5	9,860,207	45.4	413,912	4.2
衛 生 費	1,422,759	6.4	1,403,999	6.5	18,760	1.3
労 働 費	22,798	0.1	20,867	0.1	1,931	9.3
農 林 水 産 業 費	37,432	0.2	32,867	0.2	4,565	13.9
商 工 費	91,021	0.4	101,188	0.5	▲ 10,167	▲ 10.0
土 木 費	2,367,780	10.7	2,197,625	10.1	170,155	7.7
消 防 費	773,795	3.5	792,722	3.6	▲ 18,927	▲ 2.4
教 育 費	2,445,546	11.1	2,538,526	11.7	▲ 92,980	▲ 3.7
公 債 費	1,531,606	6.9	1,429,184	6.6	102,422	7.2
予 備 費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
合 計	22,111,000	100.0	21,719,000	100.0	392,000	1.8

(注) 構成比は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

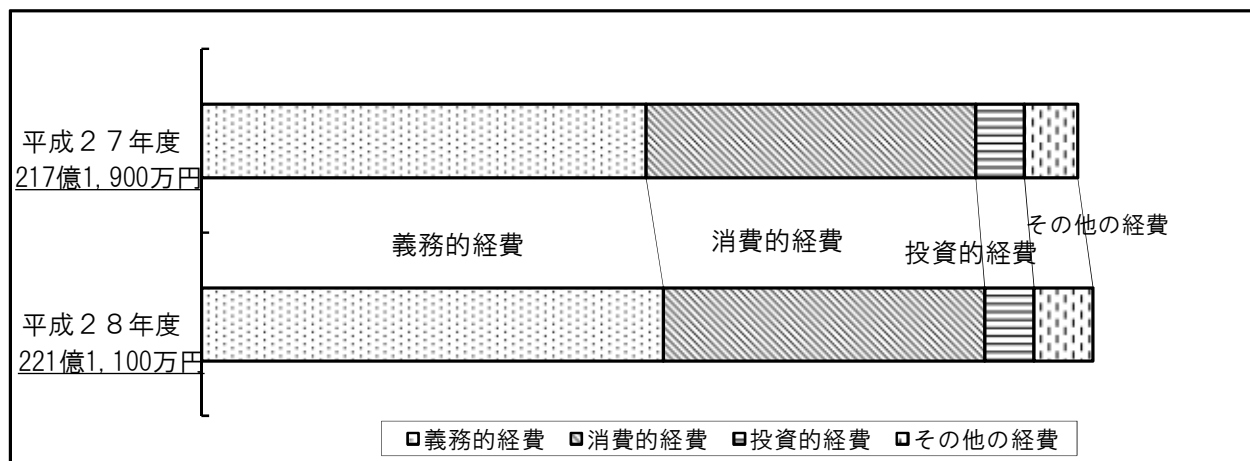


3 歳 出 (性 質 別)

(単位：千円・%)

	性 質 別	平成28年度		平成27年度		増減比較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人 件 費	3,742,922	16.9	3,820,468	17.6	▲ 77,546	▲ 2.0
	扶 助 費	6,180,090	28.0	5,780,242	26.6	399,848	6.9
	公 債 費	1,531,606	6.9	1,429,184	6.6	102,422	7.2
	計	11,454,618	51.8	11,029,894	50.8	424,724	3.9
消費的経費	物 件 費	3,946,110	17.8	4,040,025	18.6	▲ 93,915	▲ 2.3
	維 持 補 修 費	344,879	1.6	261,338	1.2	83,541	32.0
	補 助 費 等	3,685,459	16.7	3,877,920	17.9	▲ 192,461	▲ 5.0
	計	7,976,448	36.1	8,179,283	37.7	▲ 202,835	▲ 2.5
投資的経費	普通建設事業費 (補助事業)	463,644	2.1	446,834	2.1	16,810	3.8
	普通建設事業費 (単独事業)	758,586	3.4	752,241	3.5	6,345	0.8
	計	1,222,230	5.5	1,199,075	5.6	23,155	1.9
その他の経費	貸 付 金	49,912	0.2	54,821	0.3	▲ 4,909	▲ 9.0
	積 立 金	24,055	0.1	7,445	0.0	16,610	223.1
	繰 出 金	1,353,737	6.1	1,218,482	5.6	135,255	11.1
	予 備 費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
	計	1,457,704	6.5	1,310,748	6.0	146,956	11.2
合 計		22,111,000	100.0	21,719,000	100.0	392,000	1.8

(注) 構成比は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。



4 主な増減

(1) 歳入

① 市税は増収見込み↑

対前年度比+8,585万円(+0.8%)

市税は、全体的に前年度より増と見込みました。なお、歳入全体に占める割合は47.4%となっています。

(主な市税の増減)

市税の名称	予算額 (対前年度比)	主な増減の要因
個人市民税	4,948,290千円 (+10,558千円)	・雇用情勢の改善に伴う個人所得の増 ・マンションの新築などに伴う納税義務者数の増
法人市民税	444,076千円 (+10,563千円)	・企業収益の改善による増
固定資産税	4,045,993千円 (+29,238千円)	・企業の設備投資による償却資産の増 ・家屋の新增築による増
軽自動車税	66,650千円 (+14,076千円)	・軽四輪乗用車の登録台数の増 ・税率改正による増

② 国庫支出金は増加↑

対前年度比+1億3,951万6千円(+4.1%)

民間保育園等の新規開設に伴い、民間保育園等の運営にかかる国庫負担金が増加したことなどにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・子どものための教育・保育給付費負担金	：	482,486千円	(対前年度比	+	98,468千円)
・社会資本整備総合交付金	：	165,507千円	(対前年度比	+	69,744千円)
・自立支援介護・訓練等給付費負担金	：	410,434千円	(対前年度比	+	51,576千円)
・子育て世帯臨時特例給付金補助金	：	0千円	(対前年度比	▲	38,726千円)
・地域介護・福祉空間整備交付金	：	0千円	(対前年度比	▲	41,800千円)

③ 市債（借金）は増加↑

対前年度比+2億2,790万円（+18.0%）

市債（借金）は、橋りょうの耐震化に係る市債などが増となったことにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・袋橋耐震補強等整備事業債	:	169,900千円（対前年度比 +137,500千円）
・富士下橋耐震補強等整備事業債	:	113,400千円（対前年度比 +113,400千円）
・志木市民体育館アリーナ床等改修事業債	:	42,500千円（対前年度比 + 42,500千円）
・宮戸橋耐震補強整備事業債	:	35,000千円（対前年度比 ▲ 31,500千円）
・宗岡中学校校舎トイレ改修事業債	:	0千円（対前年度比 ▲ 53,700千円）
・志木中学校校舎トイレ改修事業債	:	0千円（対前年度比 ▲ 53,800千円）

【参考】一般会計の市債残高の状況

年度	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末 （見込）	平成28年度末 （見込）
建設事業債	5,377,828千円	5,615,962千円	5,397,474千円	5,308,869千円
その他	9,424,036千円	9,871,993千円	10,157,222千円	10,385,906千円
合計	14,801,864千円	15,487,955千円	15,554,696千円	15,694,775千円

④ 繰入金は減少↓

対前年度比▲2億4,807万1千円（▲15.3%）

収支不足額が減少し、財政調整基金からの繰入金が前年度より減額となったことにより、繰入金全体も対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・財政調整基金繰入金	:	1,208,763千円（対前年度比 ▲156,596千円）
・公共施設安心安全化基金繰入金	:	155,159千円（対前年度比 ▲ 85,975千円）

【参考】一般会計の主な基金残高の状況

年度	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末 （見込）	平成28年度末 （見込）※
財政調整基金	2,334,192千円	2,694,848千円	2,644,321千円	1,436,558千円
公共施設安心安全化基金	1,396,550千円	1,817,699千円	2,188,245千円	2,035,086千円

※財政調整基金、公共施設安心安全化基金ともに、平成28年度末残高見込みには利子積立金を含む。

(2) 歳出 (目的別)

① 総務費は減少↓ 対前年度比▲1億8,488万8千円 (▲5.9%)

新庁舎建設工事基本設計費、財務会計システム移行業務等が減額となったことにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・新庁舎建設工事基本設計	:	0千円 (対前年度比 ▲ 90,000千円)
・財務会計システム移行業務	:	0千円 (対前年度比 ▲ 63,927千円)
・いろは遊学館太陽光発電設備設置工事	:	0千円 (対前年度比 ▲ 33,264千円)

② 民生費は増加↑ 対前年度比+4億1,391万2千円 (+4.2%)

当初予算としては、平成15年度以降14年連続で増加を続けています。平成28年度は初めて100億円を突破しました。

民間保育園等の新規開設に伴う民間保育園の助成等の増加や自立支援介護・訓練等給付費の増加などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・民間保育園の助成等	:	1,532,539千円 (対前年度比 +190,451千円)
・自立支援介護・訓練等給付費	:	820,871千円 (対前年度比 +103,152千円)
・介護保険特別会計繰出金	:	657,670千円 (対前年度比 +69,691千円)

③ 土木費は増加↑ 対前年度比+1億7,015万5千円 (+7.7%)

宮戸橋、袋橋及び富士下橋の耐震化に要する経費を新たに計上したほか、公園施設の改修に要する経費を増額したことにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・橋りょうの耐震化	:	566,892千円 (対前年度比 +172,892千円)
・かしわ公園改修工事	:	28,836千円 (対前年度比 +28,836千円)
・住宅耐震化診断及び改修補助金	:	36,000千円 (対前年度比 +10,000千円)

④ 教育費は減少↓ 対前年度比▲9,298万円 (▲3.7%)

志木中学校・宗岡中学校のトイレ改修事業などが完了したことにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・市民体育館アリーナ床改修工事	:	44,400千円 (対前年度比 +44,400千円)
・柳瀬川図書館大規模改修工事設計	:	19,656千円 (対前年度比 +19,656千円)
・志木中学校トイレ改修	:	0千円 (対前年度比 ▲70,000千円)
・宗岡中学校トイレ改修	:	0千円 (対前年度比 ▲70,000千円)

(3) 歳出（性質別）

① 人件費は減少↓ 対前年度比▲7,754万6千円（▲2.0%）

新規職員の採用などによる新陳代謝を図ったことにより、対前年度比で減となっています。

② 物件費は減少↓ 対前年度比▲9,391万5千円（▲2.3%）

財務会計システム移行業務の完了や、第五次志木市総合振興計画の策定が完了となったことにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・財務会計システム移行業務	:	0千円（対前年度比 ▲ 63,927千円）
・第五次志木市総合振興計画策定事業	:	0千円（対前年度比 ▲ 11,281千円）

③ 扶助費は増加↑ 対前年度比+3億9,984万8千円（+6.9%）

民間保育園等の新規開設に伴う民間保育園の運営助成等の増加や自立支援介護・訓練等給付費の増加などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・民間保育園の運営助成等	:	1,398,356千円（対前年度比 +266,664千円）
・自立支援介護・訓練等給付費	:	820,871千円（対前年度比 +103,152千円）

④ 補助費等は減少↓ 対前年度比▲1億9,246万1千円（▲5.0%）

下水道事業への負担金・補助金や、民間保育園等運営改善費補助金の減などにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・下水道事業負担金・補助金	:	850,000千円（対前年度比 ▲ 80,000千円）
・子育て世帯臨時特例給付金	:	0千円（対前年度比 ▲ 29,400千円）

⑤ 繰出金は増↑ 対前年度比+1億3,525万5千円（+11.1%）

介護保険特別会計や国民健康保険特別会計への繰出金の増などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・介護保険特別会計繰出金	:	657,670千円（対前年度比 + 69,691千円）
・国民健康保険特別会計繰出金	:	560,110千円（対前年度比 + 64,110千円）

IV 平成28年度 特別会計・企業会計の概要

1 特別会計・企業会計の予算概要

(1) 特別会計

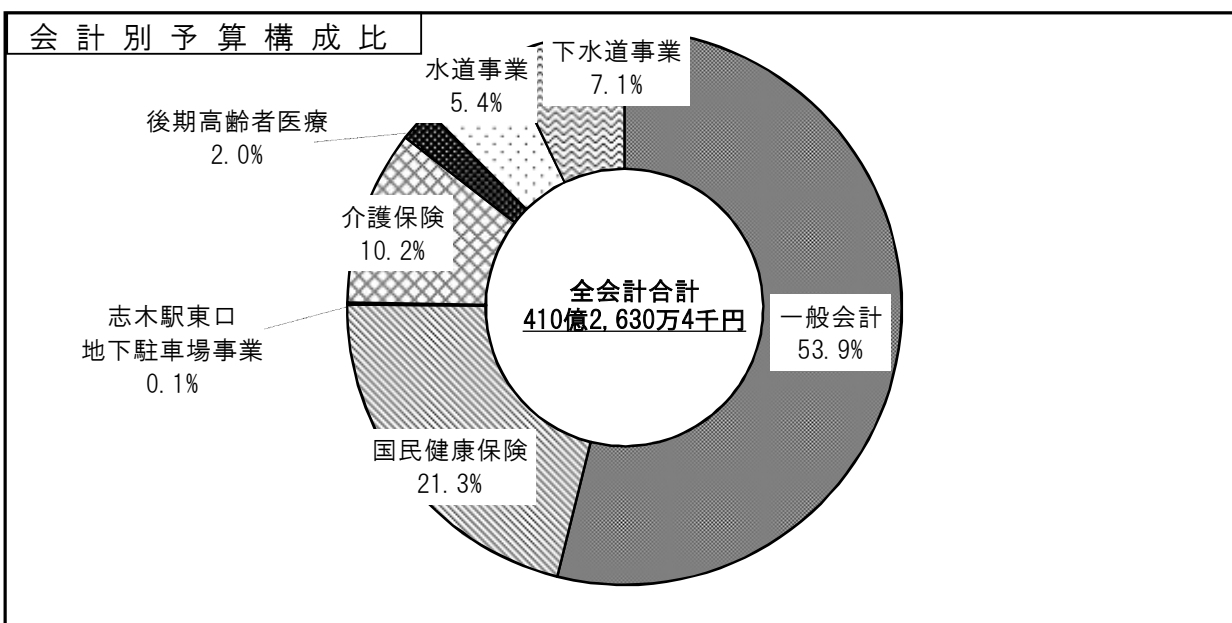
(単位：千円・%)

会計名称	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
国民健康保険	8,745,952	8,936,331	▲ 190,379	▲ 2.1
志木駅東口 地下駐車場事業	59,716	53,024	6,692	12.6
介護保険	4,178,796	3,671,016	507,780	13.8
後期高齢者医療	806,820	798,140	8,680	1.1
合計	13,791,284	13,458,511	332,773	2.5

(2) 企業会計

(単位：千円・%)

会計名称	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
水道事業	2,208,740	2,189,490	19,250	0.9
下水道事業	2,915,280	2,756,424	158,856	5.8
合計	5,124,020	4,945,914	178,106	3.6



(3) 各会計への一般会計からの繰出状況

(単位：千円・%)

会計名称	平成28年度	平成27年度	増減額	増減率
国民健康保険	560,110	496,000	64,110	12.9
介護保険	657,670	587,979	69,691	11.9
後期高齢者医療	135,957	134,503	1,454	1.1
水道事業	3,630	12,769	▲ 9,139	▲ 71.6
下水道事業	850,000	930,000	▲ 80,000	▲ 8.6
合計	2,207,367	2,161,251	46,116	2.1

2 特別会計の概要

(単位：千円)

会計名称	予算額	本年度予算の主な内容			
国民健康保険	8,745,952	(歳入)		(歳出)	
		1 国民健康保険税	1,803,321	1 総務費	69,163
		2 手数料	20	2 保険給付費	5,065,658
		3 国庫支出金	1,454,336	3 後期高齢者支援金等	1,008,767
		4 療養給付費等交付金	166,920	4 前期高齢者納付金等	527
		5 前期高齢者交付金	1,842,482	5 老人保健拠出金	130
		6 県支出金	547,733	6 介護納付金	376,486
		7 共同事業交付金	1,719,018	7 共同事業拠出金	2,013,536
		8 財産収入	2	8 保健事業費	151,120
		9 繰入金	1,172,189	9 基金積立金	5
		(1)一般会計繰入金	560,110	10 公債費	400
		(2)基金繰入金	612,079	11 諸支出金	10,160
10 繰越金	20,010	12 予備費	50,000		
11 諸収入	19,921				
<p>【予算の概要】</p> <p>予算額は、歳入歳出とも87億4,595万2千円で、前年度と比較して1億9,037万9千円、2.1%の減となっています。</p> <p>主な要因は、保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金などの減によるものです。</p> <p>被保険者数を減と見込んでいることから保険給付費は減となりますが、保険税収入も減少すると見込んでいます。</p> <p>保険税収入で不足する財源を、保険給付費支払基金からの繰入れで補てんすることとしています。</p>					
志木駅東口 地下駐車場事業	59,716	1 財産収入	56	1 駐車場事業費	14,317
		2 基金繰入金	15,640	2 公債費	43,399
		3 繰越金	10	3 予備費	2,000
		4 諸収入 (指定管理者納付金等)	44,010		
<p>【予算の概要】</p> <p>予算額は、歳入歳出とも5,971万6千円で、前年度と比較して669万2千円、12.6%の増となっています。</p> <p>歳入は指定管理者からの納付金、歳出は建設に伴う借入金の返済が主なものとなっています。</p>					

(単位：千円)

会計名称	予算額	本年度予算の主な内容			
介護保険	4,178,796	(歳入)		(歳出)	
		1 介護保険料	973,676	1 総務費	85,927
		2 国庫支出金	745,322	2 保険給付費	3,874,583
		3 支払基金交付金	1,096,636	3 地域支援事業費	214,484
		4 県支出金	598,176	4 財政安定化基金拠出金	1
		5 財産収入	123	5 基金積立金	123
		6 繰入金	764,793	6 公債費	667
		(1)一般会計繰入金	657,670	7 諸支出金	2,011
		(2)基金繰入金	107,123	8 予備費	1,000
7 繰越金	10				
8 諸収入	60				
【予算の概要】					
<p>予算額は、歳入歳出とも41億7,879万6千円で、前年度と比較して5億0,778万円、13.8%の増となっています。</p> <p>主な要因は、高齢者の増加に伴う保険給付費の増によるもののほか、地域の介護拠点である高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）を平成27年度中に増設したことに伴い地域支援事業費が増加したことによるものです。</p>					
後期高齢者医療	806,820	1 後期高齢者医療保険料	647,060	1 総務費	21,096
		2 一般会計繰入金	135,957	2 広域連合納付金	762,423
		3 繰越金	20,000	3 諸支出金	3,301
		4 諸収入	3,803	4 予備費	20,000
【予算の概要】					
<p>予算額は、歳入歳出とも8億0,682万円で、前年度と比較して868万円、1.1%の増となっています。</p> <p>主な要因は、被保険者数の増加などに伴い、制度運営する埼玉県後期高齢者医療広域連合が平成28年度から保険料率を改定したことによるものです。なお、均等割42,070円、所得割8.34%、賦課限度額57万円としています。</p> <p>主な支出は、埼玉県後期高齢者医療広域連合への納付金等となっています。</p>					

3 企業会計の概要

(1) 水道事業会計

《収益的収入及び支出》

(単位：千円)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	2 8 年 度	2 7 年 度			
水道事業収益	1,337,562	1,301,080	36,482	2.8	
営業収益	1,264,364	1,227,131	37,233	3.0	水道料金 1,057,595 加入金 150,184 他会計負担金 974 他
営業外収益	73,197	73,948	▲ 751	▲ 1.0	長期前受金戻入 71,841 預金利息 501 他
特別利益	1	1	0	0.0	
水道事業費用	1,337,562	1,301,080	36,482	2.8	
営業費用	1,249,544	1,190,767	58,777	4.9	原水及び浄水費 508,670 配水及び給水費 154,153 業務費 78,484 総係費 84,988 減価償却費 420,434 他
営業外費用	76,016	90,311	▲ 14,295	▲ 15.8	企業債利息 67,615 支払消費税 8,401
特別損失	2	2	0	0.0	
予備費	12,000	20,000	▲ 8,000	▲ 40.0	
差 引	0	0	0		

《資本的収入及び支出》

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	2 8 年 度	2 7 年 度			
資本的収入	18,406	26,733	▲ 8,327	▲ 31.1	
補助金	14,750	22,250	▲ 7,500	▲ 33.7	補助金（生活基盤施設耐震化等交付金） 14,750
負担金	3,656	4,483	▲ 827	▲ 18.4	一般会計負担金（消火栓設置工事費負担金） 2,656 工事費負担金 1,000
資本的支出	871,178	888,410	▲ 17,232	▲ 1.9	
建設改良費	664,638	687,217	▲ 22,579	▲ 3.3	改良工事費 205,316 施設改良費 456,640 量水器費 2,682
企業債償還金	206,540	201,193	5,347	2.7	企業債元金 206,540
差 引	▲ 852,772	▲ 861,677	8,905		

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額852,772千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額49,033千円、過年度分損益勘定留保資金643,830千円及び減積立金159,909円を補填するものとする。

《借入企業債残高及び償還内訳》

(単位：千円)

年度	年度末 企業債残高	元 金	利 子	合 計
27	2,861,289	201,193	72,961	274,154
28	2,654,749	206,540	67,615	274,155
29	2,442,699	212,050	62,104	274,154
30	2,224,968	217,731	56,423	274,154

《1立方メートル当たりの供給単価及び給水原価》

区 分	2 8 年 度	2 7 年 度
供給単価	150円12銭	150円12銭
給水原価	188円16銭	184円86銭
差 額	▲ 38円04銭	▲ 34円74銭

----- 給水収益
有収水量
----- 経常費用
有収水量

(2) 下水道事業会計

《収益の収入及び支出》

(単位：千円)

区 分	算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	2 8 年 度	2 7 年 度			
下水道事業収益	2,016,265	1,987,197	29,068	1.5	
営業収益	1,254,382	1,211,903	42,479	3.5	下水道使用料 850,794 雨水処理負担金 308,913 他
営業外収益	761,882	775,293	▲ 13,411	▲ 1.7	長期前受金戻入 572,820 他
特別利益	1	1	0	0.0	
下水道事業費用	2,016,265	1,987,197	29,068	1.5	
営業費用	1,753,036	1,699,240	53,796	3.2	管渠費(汚水・雨水) 120,272 ポンプ場費(汚水・雨水) 87,031 館第一排水ポンプ場費 173,501 総係費 181,947 流域下水道維持管理費 309,000 減価償却費 871,133 他
営業外費用	243,227	267,955	▲ 24,728	▲ 9.2	企業債利息 178,040 支払消費税 58,000 他
特別損失	2	2	0	0.0	
予備費	20,000	20,000	0	0.0	
差 引	0	0	0		

《資本の収入及び支出》

区 分	算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	2 8 年 度	2 7 年 度			
資本的収入	547,380	554,453	▲ 7,073	▲ 1.3	
企業債	137,700	58,900	78,800	133.8	公共・流域下水道事業債 137,700
他会計負担金	127,708	257,827	▲ 130,119	▲ 50.5	他会計負担金 127,708
負担金	39,670	1	39,669	3,966,900.0	工事負担金 39,650 受益者負担金 20
他会計補助金	224,615	221,025	3,590	1.6	他会計補助金 224,615
補助金	8,000	7,000	1,000	14.3	補助金(社会資本整備総合交付金) 8,000
貸付金償還金	2,500	2,500	0	0.0	水洗便所改造資金融資預託金元金収入 2,500
諸収入	7,187	7,200	▲ 13	▲ 0.2	館第一排水ポンプ場維持管理費剰余金 7,187
資本的支出	899,015	769,227	129,788	16.9	
建設改良費	241,862	131,615	110,247	83.8	汚水管渠整備費 41,904 雨水管渠整備費 58,686 館第一排水ポンプ場整備費 76,691 流域下水道整備費 48,072 他
積立金	8,687	7,200	1,487	20.7	館第一排水ポンプ場管理基金 8,687
貸付金	2,500	2,500	0	0.0	水洗便所改造資金融資預託金 2,500
企業債償還金	645,966	627,912	18,054	2.9	企業債元金 645,966
差 引	▲ 351,635	▲ 214,774	▲ 136,861		

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額351,635千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額17,912千円、過年度分損益勘定留保資金64,033千円及び当年度分損益勘定留保資金269,690千円で補填するものとする。

《借入企業債残高及び償還内訳》

(単位：千円)

年度	年度末 企業債残高	元 金	利 子	合 計
27	6,106,260	627,910	200,484	828,394
28	5,646,495	645,966	177,053	823,019
29	5,007,342	639,153	156,563	795,716
30	4,397,943	609,399	133,044	742,443

《1立方メートル当たりの使用料単価及び汚水処理原価》

区 分	2 8 年 度	2 7 年 度
使用料単価	121円80銭	121円80銭
汚水処理 原価	150円00銭	150円00銭
差 額	▲28円20銭	▲28円20銭

----- 下水道使用料
有収水量
----- 汚水処理費
有収水量